

令和 年度 (上期・下期) 助成事業報告書

団体名	歴史と共に歩む 現代・未来の子供達 実行委員会	設立年月	2013年設立 団体名変更 R6年 1月
		団体人数	約100人
事業名	子供創作舞踊劇 「古墳時代から昭和までの道なり」そして現在 未来の子供達」		
実施日時	令和6年11月24日(日)		出演者・スタッフ 約100名
会場	熊本市大の宮文化ホール	参加人数	客席 約300名
活動内容・活動成果			
今回、創作舞踊劇として現代音楽で古墳時代・平安 鎌倉 江戸時代 近現代まで表現。子供達を主体として 子供日舞体験教室 民謡 三味線をたしなむ子供達がふるまとの民謡を唄ってもらい 大の宮太鼓の子供達や、世界平和を願う。戦後 から未来への 明るさを表現、南区の子供達(杉上小学 舞踊部)が 「さくらさくら」日本神話にあるスサノオミコトによる日本古謡として あらわれた作品を踊り、また地域の高齢者の方々も参加して いただき 楽しい舞台となった。 また、現在教室でがんばっている子供達に 古典舞踊を披露してもらい 来賓に伺って 名取をいただいた子供達2名が かつら 衣裳をつけて 長袖に袴 狩り、常磐津「娘獅子」と舞合いつづいに 歌舞伎舞踊を始めた。 レベルの高い 舞台で 客席からもたくさん拍手をいただいた。 活動成果 ① 南区 城南町の文化遺産の保存と伝統文化の継承につなげた。 ② 「地域づくり」を図り、子供達や地域の方々も 古典芸能の楽しさを 得ることになった。 ③ 復興への道なりとして 地域の方々と絆づくりができた。 ④ 子供達の育成につなげた。 ⑤ 伝統文化である、太鼓・民謡・日舞、そして地区の子供達で一体になり「子供祭典」 となった。			

制作舞踊劇「古城時代から昭和までの道のり、そして現在、未来の子供達」

実施者名:「歴史と共に歩む 我々の未来実行委員会」

収入支出決算の詳細

① 収入

項目	予算額	説明
自己負担金	620,000	子供日舞体験教室負担金
入場料収入	800,000	チケット代(2000円×入場見込400名)
出演者参加費	2,000,000	子供日舞体験教室生徒 800,000円×2名 (100万) 30,000円×18名 (54万) 民謡星はな会こども 10,000円×5名 (5万) 火の国太鼓子供達 10,000円×15名 (15万) 日本舞踊PPK(地域住民・高齢者) 20,000円×13名 (26万)
助成金等	270,000	公益信託 熊日文化スポーツ基金 (10万) 県文化協会補助金 (7万) 熊本放送文化復興財団 (10万)
事業実施の自主財源	577,320	
合計	4,287,320	

② 支出

	予算額	説明
謝礼・出演料	190,000	役員 180,000円 出演謝礼(2名分) 40,000円
賃金	1,570,000	舞台監督 300,000円 振り・演出 100,000円 子供達への指導料 200,000円 (10,000円×20日×1名) 指導補助料 300,000円 (8000円×20日×3名) 制作費原価付料 130,000円 化粧175,000円 舞台衣装管理付け代 175,000円 髪髷い代100,000円 受付 30,000円(10,000円×3名) 会場準備係 60,000円(6000円×6名×2日分)
使用料・賃借料	849,770	貸衣装代 300,000円・小道具賃料 100,000円 会場使用料 449,770円
委託料	1,010,000	照明代 60,000円・音響料 100,000円・写真撮影料 60,000円・大道具設置料 700,000円 ビデオ収録制作費 100,000円
印刷・製本代	159,500	プログラム(500部)・チラシ(500枚) チケット(400枚)
通信・運搬料	90,000	運搬費 50,000円・通信費 10,000円
保険料	11,800	あいおいニッセイ障害保険
飲食費	90,000	錦鶏古(リハーサル弁当・お茶・お菓子代)
消耗品・原材料費	326,250	クリーニング代 コピー・カセットテープ・DVD・録音料・小道具原材料費
合計	4,287,320	

